

高藩探勝中巻(寛保3年(1743)、当館蔵、部分)

令和8年度後期企画展

近世高遠町のくらし

2026

10. 3 Sat

2027

2. 21 Sun

休館日 10/5(月)・13(火)・19(月)・20(火)・26(月)
11/4(水)・9(月)・16(月)・17(火)・18(水)・
24(火)・30(月)
12/7(月)・14(月)・15(火)・16(水)・21(月)・
28(月)～31(木)
2027 1/1(金)～4(月)・12(火)・18(月)・
19(火)・20(水)・25(月)
2/1(月)・8(月)・15(月)・16(火)

開館時間 9:00～17:00(最終入館16:30)

入館料 一般400円(20名以上の団体は1名あたり300円)

※小中学生、高校生、養護学校生徒及び18歳未満は無料。

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を
お持ちの方とその付き添いの方1名は入館料免除。

主催 伊那市教育委員会(伊那市立高遠町歴史博物館)
協力 伊那市立高遠町図書館、伊那市民俗資料館、
酒井清久氏、酒井瑛氏、清水裕明氏、
藤澤みのり氏ほか

元禄十年高遠町絵図(元禄10年(1697)、旧池上家蔵、部分・加工)

高藩探勝中巻(寛保3年(1743)、当館蔵、部分)



近世高遠町のくらし

当館は開館30周年を迎え、江戸時代の城下町「高遠」の歴史を紐解く企画展を開催します。

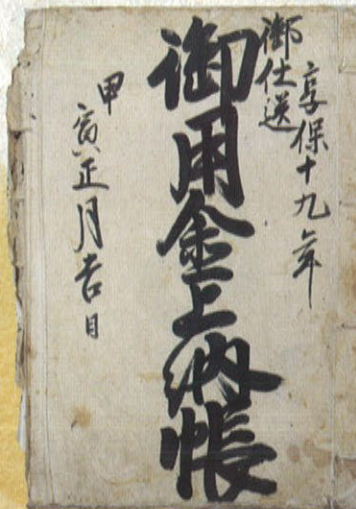
本展では、現在伊那市古文書保存活用推進事業でデジタル化と解説が進められている「池上家資料」をはじめ、高遠町本町の酒井家（和泉屋）や旧正木家（豊後屋）、横町の藤澤家（松田屋）から新たに収集・提供された貴重な古文書や古記録を厳選して公開します。

絵図だけでは読み解くことが難しい近世の高遠町（町人地）における自治の仕組み、出来事、生業、文化活動を振り返ります。



火事装束(江戸時代中期～後期、個人蔵)

火事装束は町の火消しや武士の火消しのうち、組を統括する者が身につけることのできる装束です。家の家紋として丸に酢漿草と丸に剣酢漿草の紋が施されています。



御用金上納帳(享保19年(1734)、個人蔵)

高遠藩は元禄検地によって財政の展開に制約を課された状況であったため、領民へ御用金や才覚金を求めました。御用金の上納は享保10年に町仕送役を任命して始めました。



池上邦考肖像(文久2年(1862)、伊那市民俗資料館 旧池上家蔵)

池上邦考は幕末期の高遠町の町役人で、俳諧連歌や和歌を得意としました。絵師は不明ですが、画賛は高遠藩士岡村十郎兵衛忠輔(菊叟)が記しています。

関連講座

◆ギャラリートーク

日時：10/3(土)、11/7(土)、12/12(土)
10:00～11:00

案内人：福澤 浩之（高遠町歴史博物館学芸員）

定員：なし（事前予約なし）

参加費：無料（別途入館料）

◆第19回歴博カフェ

日時：11/7(土) 11:30～14:00

会場：伊那市民俗資料館 旧池上家、環屋

内容：「町家で学ぶ城下町高遠の歴史」

案内人：福澤 浩之（高遠町歴史博物館学芸員）

定員：20人（事前予約制）

参加費：1,500円

◆第41回歴博講座

日時：12/12(土) 13:30～15:00

会場：高遠町地域間交流施設(博物館隣)

講師：伊藤 俊規 氏

演題：「平成の合併について」

定員：40人（事前予約制）

参加費：100円

その他のイベント

◆開館30周年記念行事

期日：9/26(土)

内容：アルプスカルテット(伊那フィルハーモニー交響楽団団員)によるミニコンサート(10:30～)、学芸員によるギャラリートーク(11:00～)

※『開館記念の日』にちなみ1日無料開放します。

◆伊那市高遠町・東京藝術大学交流40周年記念

秋季特別展「伊澤修二と音楽教育」

会期：10/10(土)～12/13(日)

会場：博物館2階 セミナールーム

※入館料が必要です。

◆歴博わくわく教室 秋

日時：11/21(土)、22(日) 9:00～14:00

会場：博物館敷地内

内容：発掘・拓本、昔の遊び、木工等のクラフト等、様々な体験ができるほか、市民によるステージ発表やキッチンカー等の出店があります。

参加費等：入館無料、一部の体験や飲食等は有料です。



伊那市立高遠町歴史博物館

〒396-0213 長野県伊那市高遠町東高遠457
TEL 0265-94-4444 FAX 0265-94-4460

